



自動車・建築・インテリアの仕事

メカニックに憧れている
開取り図を見るとワクワクする
雑貨・インテリアショップが大好き



自動車整備士

乗用車やバス、トラックなどさまざまな自動車の整備、点検、修理をする。適切な整備は、快適な運転を提供するだけでなく、車の安全性を向上させるためにも必要。

- ポイント 1** いろんな場所で活躍できる
新車納入や車検時の自動車の点検・整備から、専門的な分野ではカーレースでのメンテナンス業務まで、幅広い活躍ができる。
- ポイント 2** 新しい知識が求められている
近年は技術が進み、自動車の構造、装置が複雑化している。高度な専門知識を持った整備士が不足しているので、ニーズは高い。

必要資格 自動車整備士 (国家資格)

勉強できる対象校 ◎専門学校穴吹工科カレッジ



建築士

依頼主の要望に合わせて建築物の設計をするとともに建築工事や管理まですべてに関わる。建物のデザインだけでなく安全性の追求や法令などの知識も必要となる。

- ポイント 1** 独立開業ができる!
建築士になれば自分の設計事務所を開業することもでき、さらに自分のような専門的な仕事ができる場合もある。
- ポイント 2** コミュニケーションが鍵
現場の責任者を任られることも多いので依頼主と工事現場との円滑な発行も、人との話の好きな人に向いている。

必要資格 建築士 (国家資格)

勉強できる対象校 ◎専門学校穴吹デザインカレッジ



インテリアコーディネーター

依頼主の要望に合わせて、住宅や店舗などのインテリアをコーディネートする。家具や床、照明などインテリア商品購入にまつわるアドバイスも行う。

- ポイント 1** 感性とセンスを活かせる!
快適なライフスタイルを提供する室内空間のコーディネートにはセンスが必須。自分の感性を活かすことができる。
- ポイント 2** これからますます需要が拡大
今後、リフォーム市場が大きくなっていくので、インテリアコーディネーターの需要はさらに拡大することが見込まれる。

必要資格 特に必要ないが、インテリアコーディネーター (インテリア実業家協会)が認められていると就職が有利

勉強できる対象校 ◎専門学校穴吹デザインカレッジ



インテリアプランナー

依頼主にインテリアの企画を提案し、設計・工事監理までトータルで担当。安全性なども考慮しつつ、材質の選定やインテリアの配置などの内装プランを手掛ける。

- ポイント 1** 建築にもインテリアにも関われる
インテリア全般の知識はもちろん、設計施工の知識も必要なので、インテリアだけでなく建築関係の仕事に憧れている人向き。
- ポイント 2** 活躍できる場所が多い!
モデルルームの企画を手掛けることも、建築事務所、設計事務所、住宅メーカー、内装リフォーム会社など、活躍できる場所が多い。

必要資格 特に必要ないが、インテリアプランナー (建築設計教育者協会)が認められていると就職が有利

勉強できる対象校 ◎専門学校穴吹デザインカレッジ



他にも ◎車体整備士 ◎自動車販売スタッフ ◎建築CADオペレーター など

卒業生へ質問! この職業の

ホンネのホンネの話

車の走る仕組みに興味を持ち独学で勉強

小さい頃から、外車やスポーツカーなど、ひときり立自主動車に興味がありました。中学生の時は将来の夢のひとつも決まっていたほど。車が大好きな私は、次期に車に関する仕組みに興味を持ち、独学で勉強するようになりました。勉強が楽しいと思っていたが、自動車業界に進もうと思ったきっかけです。そこで高校の先生に頼んで、専門学校資料を集めてもらいました。

実習や資格対策をみっちり学んだ専門学校

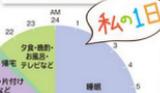
専門学校時代には、実習の経験が大変なこともありました。学業と違って頭と体を同時に動かさなくてはならず、まあ一問間違えたら事故につながるので、身が引き締まるような気持ちになりました。2級自動車整備士の国家資格取得も非常に難しく大変でしたが、みっちり勉強対策をもらって合格できたのが嬉しかったですね。



卒生 2級自動車整備士(2級) 穴吹自動車専門学校 作花 達明さん

絶対にミスができない! だけどやりがいがあります。

自動車整備士は、お客様が実際に使用している車を整備するので、絶対にミスできない仕事です。車が好き、というだけでは動かない厳しさがあると思います。また、整備箇所の説明なども、お客様にきちんと説明することも求められます。ですが、整備の技術も接客力も経験を積むことで自分でも上達がわかってくる部分なのでやりがいがあります。



私の1日

ホンネのホンネの話

自分のデザインで人を幸せにしたい!

デザイン業界にはずっと憧れておりましたがどういった職に就けばいいのか分かっていませんでした。たくさんのアルバイトを経験したことで店販の設計に興味を持ち始めました。自分でデザインしたものを人へ幸せにしてく、施工主との打ち合わせから最終の引渡しまでを通じて自分が出来るインテリアコーディネーターになりたいと思い、専門学校就職先も選びました。

進みたい道がはっきり見えた専門学校時代

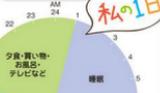
専門学校を受験するまでの期間は、ずっとインテリアについて本などを見て自分なりに勉強していました。今まで何事も経験したし戻ればなり出来なかつた自分が進みたい道・将来の夢がはっきり見えたのは専門学校に入ってからだと思います。学校生活最後の卒業制作ではプロシヤンにつぶされそうになりましたがそれも今は懐かしい感じがします。



(前)フリーランス 独学インテリアアドバイザー 伊達 未結さん

必要なのは体力と知識とコミュニケーション!

インテリアコーディネーターとは、とても華やかな業界をイメージしていましたが、実際は体力と知識とコミュニケーション能力が必須の仕事でした。お客様とのコミュニケーションによって、その人の求めているものが想像できるようになり、より良い提案ができます。また、職場内でのコミュニケーションも大切。先輩方が出られるさまざまなコーディネートなどは、本当に勉強になっています。



私の1日